



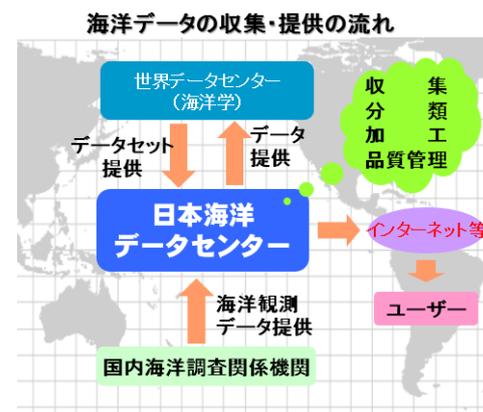
平成28年3月17日  
海上保安庁

**日本海洋データセンター設立50周年を記念してシンポジウムを開催  
～日本海洋データセンターの歴史を振り返り、  
将来像について議論します～**

日本海洋学会が主催する2016年日本海洋学会春季大会にて、共催としてシンポジウム「海洋データ・情報管理の将来を考えるー日本海洋データセンター設立50周年の歴史と今後ー」を開催します。シンポジウムでは、海洋データ・情報管理の将来に向け、日本海洋データセンターの歴史を振り返り、今後のあり方を討論します。

- 1 日 時 3月18日（金）午後1時00分～午後5時40分
- 2 会 場 東京大学本郷キャンパス 理学部1号館 小柴ホール  
東京都文京区本郷7-3-1
- 3 参加費 無料（どなたでも参加できます。当日会場までお越しください。）
- 4 取材申込 本シンポジウムの取材を希望される場合は、予め以下までご連絡をお願いします。  
取材申込先：海上保安庁海洋情報部海洋情報課  
電話（03）5500-7131

【日本海洋データセンター（JODC：Japan Oceanographic Data Center）とは】  
ユネスコ政府間海洋学委員会（UNESCO/IOC）の決議に基づき、各国に国立海洋データセンターが1機関指定されている。我が国は、海上保安庁海洋情報部海洋情報課が日本海洋データセンターとして指定され、国内の海洋に関する観測データや調査計画の一元的な収集・管理を行っており、また国際的な交換を行っている。  
国内の海洋調査機関の協力により、現在では、日本海洋データセンターが提供している国内の観測データは、世



海洋データ・情報管理の将来を考える  
- 日本海洋データセンター設立 50 年の歴史と今後 -

開催日時：2016 年 3 月 18 日（金） 13：00～17：40

会場：東京大学本郷キャンパス 理学部 1 号館 小柴ホール

主催：日本海洋学会

共催：海上保安庁海洋情報部，(一財)日本水路協会

コンビナー：道田 豊（東京大学大気海洋研究所）

鈴木 亨（日本水路協会海洋情報研究センター）

楠 勝浩（海上保安庁海洋情報部・日本海洋データセンター）

## 趣旨

ユネスコ政府間海洋学委員会（IOC）の主導のもとで、1960 年代から国際海洋データ・情報交換(IODE)事業が進められている。IODE の中核をなす組織として各国の海洋データセンター(NODC)があり、わが国は 1965 年に海上保安庁水路部の一組織として日本海洋データセンター（JODC）が設立された。カウントの仕方にもよるが、現在 80 ほどある各国海洋データセンターのうち、5 番目に設立された歴史を有する。JODC は 2015 年に設立 50 周年を迎えた。JODC は、設立から一貫して、IODE 事業における我が国の窓口機関として、また、世界の中でも有力なデータセンターの一つとして活動を続けて来ている。当初は海洋物理学関連データの管理が中心であったが、着実に取り扱いの範囲を拡大し、CSK（IOC の黒潮共同調査）における黒潮データセンター（KDC）それに続いて WESTPAC の責任データセンターの役割を担うなど、わが国及び地域の海洋学の発展に貢献して来た。また、2007 年に制定された海洋基本法に基づいて、近年は我が国における海洋情報一元化という政策課題においても中心的役割を担うようになってきている。こうしたことを背景として、本シンポジウムにおいては、JODC 設立 50 周年を機に、これまでの同センターの活動を振り返り、今後の海洋データ・情報管理の課題を整理したうえで、将来の方向について本学会内外の関係者による議論を深めたい。

## プログラム

13:00-13:10 趣旨説明：道田 豊（東大大気海洋研）

13:10-13:50 第一部 IODE と JODC 座長：鈴木 亨（海洋情報研究センター）

IODE の現状と課題：道田 豊（東大大気海洋研）

JODC の歴史と展望：楠 勝浩（海上保安庁海洋情報部・日本海洋データセンター）

13:50-15:10 第二部 国際協力の推進 座長：鈴木 亨（海洋情報研究センター）

NEAR-GOOS データ管理の現状と展望：大野 浩史（気象庁）

J-OBIS の役割およびデータ管理の現状と展望 : 伊勢戸 徹・細野 隆史・藤倉 克則  
・園田 朗 (海洋研究開発機構)

KODC の活動および JODC との協力 : So Hee HAN, Sun Hee NA and Joonsoo LE  
(韓国海洋データセンター)

科学データ保存事業 ICSU-WDS とオープンサイエンスの国際動向 : 村山泰啓  
(情報通信研究機構)

(休憩 : 15:10-15:20)

15:20-16:20 第三部 データの高度利用と拡充 座長: 楠 勝浩 (海上保安庁海洋情報部)

MIRC と JODC の協調と将来 : 鈴木 亨 (日本水路協会海洋情報研究センター)

衛星リモートセンシングデータの現状 : 村上 浩 (宇宙航空研究開発機構)

水産分野からの JODC への期待 : 渡辺朝生 (水産総合研究センター)

16:20-17:00 第四部 海洋政策への活用 座長: 道田 豊 (東大大気海洋研)

海洋政策における海洋情報一元化の意義と今後の展望 : 藤田雅之

(内閣官房総合海洋政策本部事務局)

海洋情報の産業利用と JODC への期待 : 中原裕幸 (海洋産業研究会)

17:00-17:40 第五部 総合討論 進行: 道田 豊 (東大大気海洋研)